

旭川に市民や企業の中で  
旭川に新しい学校を創りましょう！

学校を創ろう！

旭川市内の複数の企業が共同で企業内大学を創設  
参加企業が合同で社員育成や新商品・技術を開発  
市内外からの受講者も募集し、従業員確保も期待

## 学校開設のテーマ

この度計画する学校キーワードは以下の7つです。

技術者の確保、育成。

複数企業共同での研究、勉強。

異業種交流、ダイバーシティ。

複数企業で、共通の人材雇用、設備、会場等の共有。

共同での情報発信・販売。

サークル活動などでの出会い、楽しみの創出。

旭川の人口増加、活性化。

## 学校開設の必要性

学校開設を目指すことになった経緯

企業学校、企業大学とは造語的な要素があるため、正確な定義はないが企業がその企業の技術者を育成し、或いは大学内でその企業のための新しい技術を研究するために、その企業が設立、運営する大学である。これも、正確な定義はないが、基本的に一般的な「4年制大学」としての設立される。そのため、必ず卒業生はその企業に就職できるというわけではなく、優駿な人材がピックアップされる仕組みとなっている。

この形態は日本では、まだあまり知られていないがアメリカを中心とした世界中で展開され始めている。

背景としては、どの国もエンジニア不足、労働力不足の現実があり、その対策として取り入れられている。

最近の有名な企業大学としては、「ダイソン」が設立していい、優駿なエンジニアの確保と、学校内で学生とダイソンの研究者での共同の商品研究を目的としている。

現在、同じく技術者不足し、若者の減少が進む旭川にもそのような大学があれば理想と言えるが、当然「ダイソン」のような資金力のある企業は存在しない。

さらには、現在の少子高齢化や高額な学費や奨学金の問題、また、日本における「大学」についての意義（海外では具体的に職業に就くために準備であったり、研究施設的な要素が強い。しかし日本では就職の過程であったり、単純に高校の延長のような感覚であったり、4年間遊ぶ為の大義名分であったりもする。）が少なく、大学自体の必要性も問われている。

ある調査では「大学を卒業する能力」と「大学に入学する能力」がほぼ同等であるという研究結果もある。

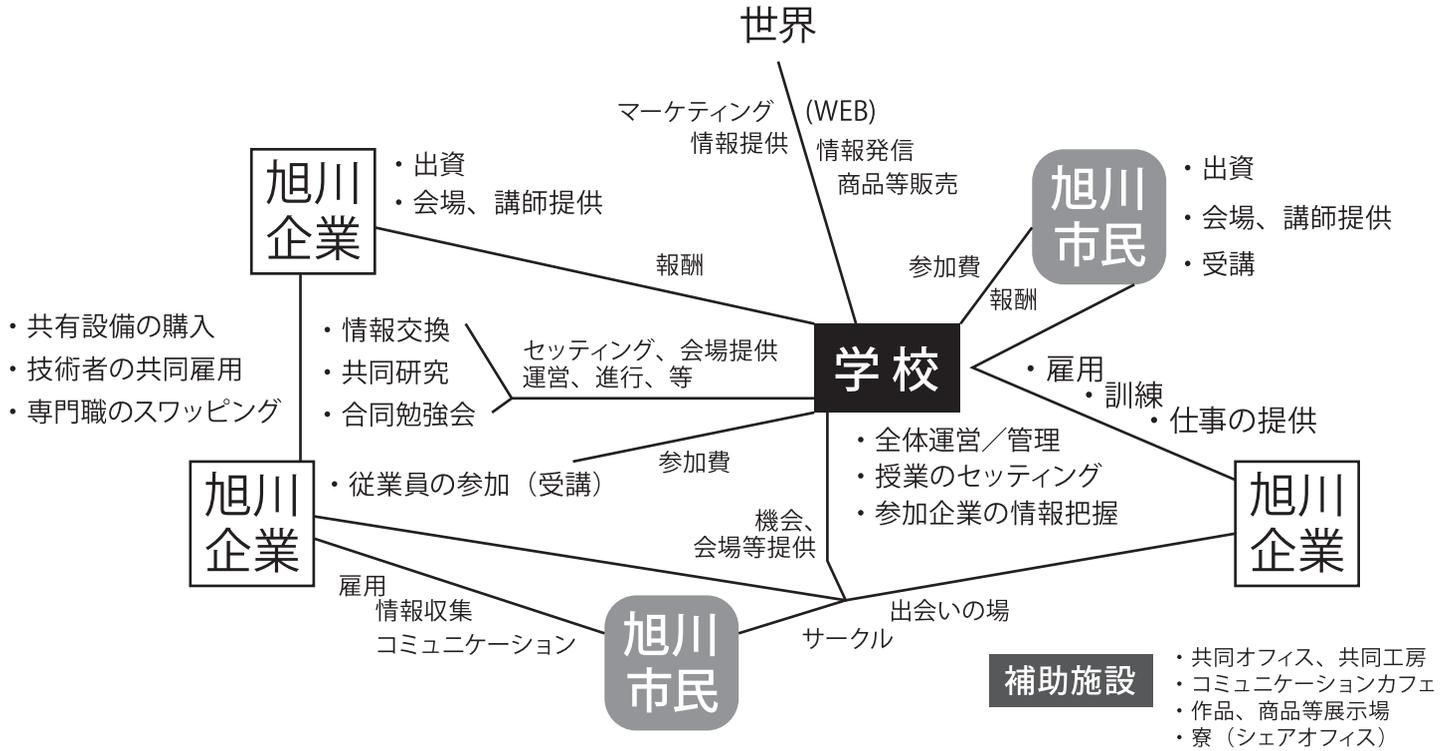
また、日本でも大手企業で企業内大学の創設が増えている。企業内大学は企業が社内に設置している研修制度（企業内教育）の一種であり、大学のように複数の講座を社員に受講させる形態を取るものを指すが。やはり大企業でこそできることであり、中小企業での実施は困難である。

そこで、複数の企業が合同で、現在の旭川でも設立が可能な新たな形の企業大学のような学校（大学校）の創設を提案いたします。

※大学校（だいがっこう）は、大学（日本では学校教育法第1条に規定される）とは異なる教育訓練施設等が用いる名称であり、組織や目的、内容に制限はありません。

※大学校という名称自体を使う必要もありません。

特定の企業が運営する大学でもなく、企業内の設置する大学（教育施設）でもなく、旭川の複数の企業が共同で運営する学校です。それぞれの企業が、自社の技術者雇用や従業員のスキルアップのために講座を開設したりほか、企業同士で共同の研究機関や情報収集機関を作成・運営し、情報や技術を共有することを目的とします。また特殊な技術者や設備を共有することで無駄な雇用や出費をへらし経費節減の効果も期待できます。



要点

特徴を箇条書きにまとめます

- ・「ダイソン」のような一つの企業が創立、運営の資金を出すことはできないので、複数の企業で運営する。
- ・企業の参加の仕方は様々で、資金の提供、講師の提供、施設の提供等、その企業が参加可能な範囲で、その都度参加していただく。
- ・その為、当初は講義や会場も固定せず、必要な時に開設可能な条件（会場、予算など）で開設する。
- ・当初はインターネット等を活用し、企画に賛同する企業や会員を募集。
- ・また、会場候補地や講師可能人材の確保。
- ・正式な大学ではないので、講師に資格は必要なし。逆に等学校で資格を取ることも不可能（将来的には可能にしたい。）
- ・各種要望や情報を収集し、受講希望者が多数いて、会場・講師が決まった開設可能な講座から単発で行う。
- ・企業から、自社の技術者募集のための講座開設（会場や講師もその企業で用意）も積極的に受け付ける。
- ・受講者は入学金は必要なく（数千円から数万円程度の初期費用、或いは年会費は必要？）一講座毎に料金を支払う。
- ・一講座の料金は、特別な機材や資料が必要ない場合は、2000円程度。
- ・おおよその半額が講師代と会場費。残りは学校の利益（運営費）。
- ・特殊な技術者の複数企業での共有（共同雇用）やスワッピングも仲介。
- ・企業情報発信、求人、商品紹介・販売などを単体で行うとあらゆる面で非効率（お金がかかり、ページビューも稼げない）なので、共同で発信。
- ・各参加企業の情報を把握することで、それぞれの必要、適切な外注先やパートナー企業を紹介できる。
- ・学生向けだけではなく、現在就職されている方や、企業からの命令でその企業の社員が通うことも可能。
- ・その為、時間も時には夜間や土日に集中して行うこともある。
- ・上述の企業大学のような企業の技術者を育成、雇用する為の講座を開設したとしても、必ず誰かを雇用する必要はなし。（事前に受講者に説明義務）
- ・主な目的は、旭川の企業の人手不足解消、技術力向上、人口増加のほか、参加企業のレベルアップが目的。
- ・参加企業の共同の研究所や勉強の機会、或いは情報収集、マーケティングの組織を作り参加企業全体で利用する。
- ・もう一つの大きな目的としては、旭川での出会いの場の創設。
- ・恋愛、結婚のための出会いはもちろんだが、友人や、趣味の仲間など人生楽しみをつくるため。
- ・そのために、仕事や就職に関する講義や会議、イベントのほか、サークル活動なども行う。
- ・当然ダイバーシティのように、異業種の人が集うことにより仕事上で新たな価値観や技術が生まれることも期待する。
- ・学校内にシェアオフィスやシェア工房も用意し、不特定多数の人（個人事業主など）が集まる環境も整えたい。
- ・学校内で参加企業が仕事を提供してアルバイトをしたり、講座内で製作した製品、作品を販売することも検討。
- ・企業内大学版学校祭の開催。
- ・カフェや、旭川以外からも通えるように寮（シェアハウス）も将来的には運営したい。
- ・市や道、国が支援していただければありがたいが、基本的には民間で運営。

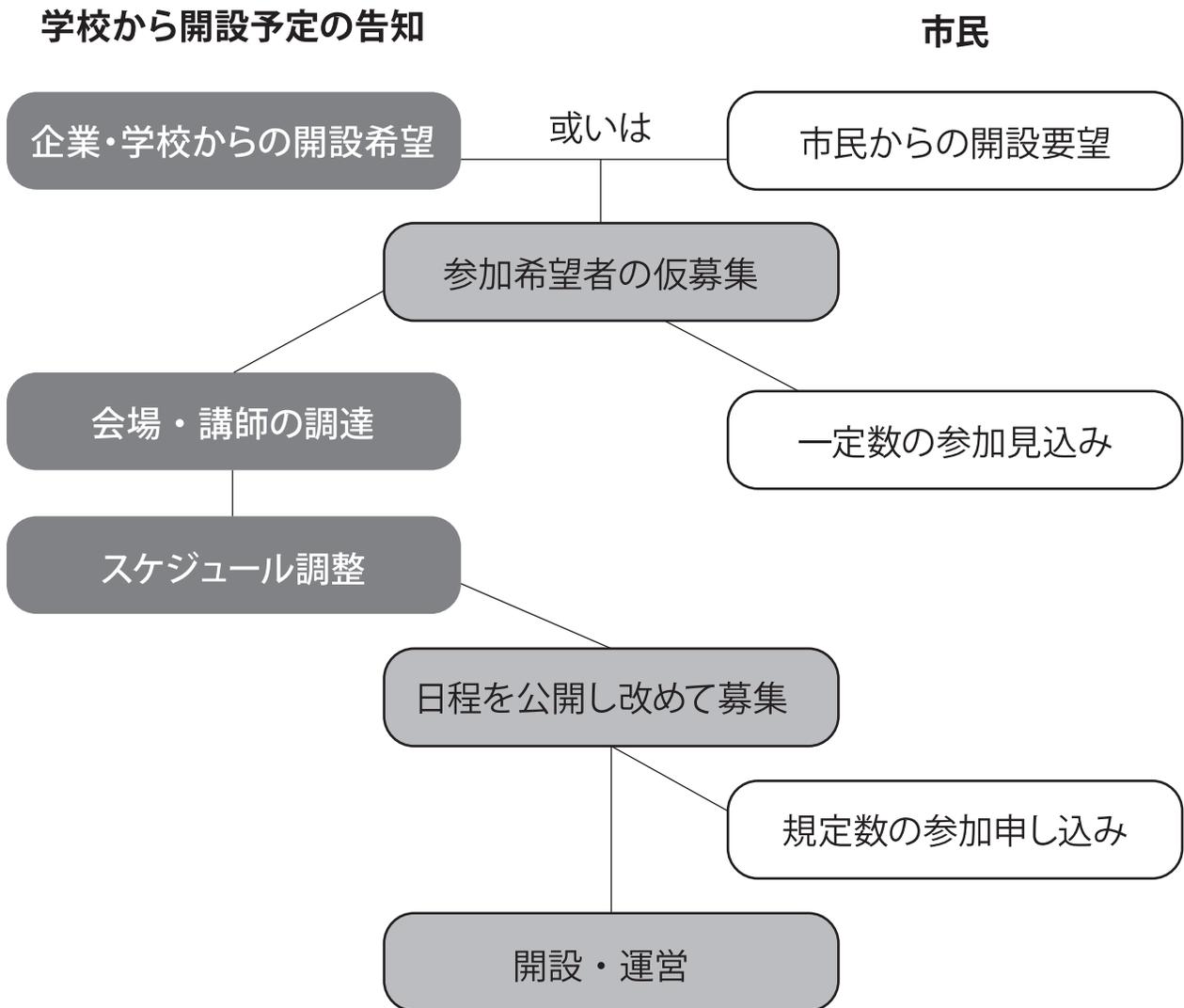
期間：6ヶ月（週5日 135回）

料金：1回につき2,000円（チケットの複数枚事前購入・欠席した講義にはチケットを使用する必要はない）

時間：19:00～ 1回につき90分程度

会場：任意（当初はその都度探す・会場代、設備使用料等かかった場合は、料金に上乗せ）

パターン例



- ・講師は複数（複数の企業から参加）でも可能。
- ・当初の会場は講師の職場を就業時間外に利用など。
- ・平日の都合がつかない場合は臨時で土日の集中講座なども有り。（事前に説明義務）
- ・ある程度仕事のできる受講者へは、学校から簡単な仕事の発注も可能
- ・そのため学校への仕事の依頼も全国から募集
- ・講師や関係者が、期間満了前に受講者を雇用することも可能
- ・企業からの団体受講も可能
- ・希望者へは期間満了後もフリーデザイナーとして学校と提携
- ・将来的は市外からの受講者のための寮（シェアハウス）を準備